

富士が

泣いている

時効事件④

高木徳一

夏の昼下がり、新宿駅のホームから見える中層ビルが暑さに開口した空気で揺らめいている。乗降客は忙しなく行き交う。

半袖の開襟シャツに鳥打帽子を被った長身の私は、韓国千ウオン札を円に両替するための二回目の上京となる。

隣には韓国の実家から戻ってきたばかりの信者を従え、韓国系銀行では彼女がパスポート提示をする予定である。

彼女は白のチョゴリ（上着）とうす緑のチマ（巻きスカート）に太り気味を隠しているが、胸の赤いボンがふつくら笑顔を引き立たせている。

次の瞬間、私の網膜が捉えたのはホームの先端近くを歩いている母娘の赤い半袖を着た娘がよろめき、視界から消えた映像であった。

その後、姿がかつて遇った部落娘と似通っていると脳が認識し、助けなければとの意志が働き、手足が作動し、現場に駆け寄り、飛び降りたのだが、

動作がスローモーションのスイッチが入ったように感じた。

きしむ金属音が右の耳介の中で共鳴し合う。

偽のウオン札が宙に舞っている。

来し方が、突然画像の早送りのように瞼の前に浮かび上がった。

日本がポツダム宣言を受諾し、無条件降伏したとの報告を受け、神国が負けたとは信じられなかった。

これで死なずに故国に帰れる、日本軍に協力したからもう朝鮮は受け入れてくれない、連合国による収容所送りだ、いや戦犯で裁かれるぞなどと言ひ合い、皆は悲喜こもこもの表情になる。

直ぐに武装解除された。

半数以下に減った朝鮮人部隊は敗残兵の屈辱にまみれ、一週間の収容所暮らしを経た後、帰還船に日本兵と一緒に積み込まれた。

仕官の顔は何処にもなかった。

行き先は日本の門司港であると聞かされていた。

海鳥が舞う大海原を見ながら、私は一ヶ月早く終戦になっていたら次兄が隣にいたのと思うと涙がこけた頬を伝う。

未来に何があるのか、澄み切った青空とは反対に心には暗雲が垂れ込めている。

インドシナ半島のトンキン湾から海南島を回って、台湾の島影を左舷に見て、大陸を遠望する。

日中戦争に巻き込まれた己の境遇を回想し、故国は日本帝国から解放されるが、今度は連合国の占領が始まる。

日本軍を支援した両親と独立運動の長兄の行く末はと考えると、悩みの種は尽きない。

やがて済州島と五島列島の間を通過し、対馬海峡を北上して九州の門司港に着いた。

日本の地理は日本人に聞いたのである。

栈橋では大勢の日本人が髭面で背囊一つの痩せた

兵士を待ちわび、抱き合い、手を握り合ったりしているが、誰一人朝鮮人日本兵の出迎えはいない。朝鮮人はトラックに乗せられ、鉄条網の中の收容所へと運ばれた。

数日が瞬く間に過ぎた。

或る日の昼時、食堂への廊下を歩いていると、兵長殿、暫く振りでありますと直立不動で敬礼する姿を見た。

誰かと思えば、小、中学校時代を通じての苛めの大將で、貧弱な身体になり下がっていた。

小鼻の黒子と傍の口角を歪めて喋る特徴は消えていなかった。

襟章は黄色星三つの上等兵。

君が志願兵だとは知らなかった、七年近く同じ部隊にいて出会わなかったなと懐かしみを込めて返答する。

その節は辛く当たって大変申し訳御座いませんでした、仲間二人が戦死し一人取り残されましたと

丁寧な言葉遣いが戻ってきた。

もう、そんなことは忘れたよ。それに戦争が終わったのだから階級はないよ、替えないので仕方なくこの軍服を着ているが、それにしても、お互い無事で良かったと言いつつ、握手を求めた。彼は、また、最敬礼をして、早く祖国に戻りたいです、それではこれにて失礼致しますと丁寧な言い回しをする。

それじゃ、またと彼の背に言葉を乗せ、別れた。彼は以前から自分を認識していたが、バツの悪さがあって面前に出られず、今回は孤独の寂しさが背を押したのであろう。何はともあれ、旧友に巡り会ったのだ。こちらから話し掛けてやろうと思う。

翌日に彼の集団部屋を訪れ、自分も兄を亡くしたことや体験を話す。

一週間もすると、彼も打ち解け、互いに言葉が弾んだ。

その後、事務局から戦後の大混乱で、何時朝鮮に帰れるかは不明だと言われた。

帰国すれば、独立派に虐げられるので、帰りたいと泣き出す者もいる。

折角日本に來たのだから、自分は母の故郷に行ってみたいと思った。

住所は大分前に聞いていて、更に戦争のストレスが加わり、その部分の記憶が欠落している。

だが、富士山が目の前にあり、湖の近くであることを、二日間の搾り出しでやつのことで記憶を蘇らせた。

早速、事務所に出向き、家族歴を話し、日本人佐と懇意にして、日本軍を支援し、次兄と志願した旨を話した。

丸い眼鏡を掛けた初老の事務員が流暢でない日本語を聞いて下さり、ご苦労様でしたと言われた時は、心が幾分温かくなった。

話の要点を記入し、朝鮮人日本兵が母親の故郷に

続きは
完成版で
お楽しみ下さい。